

# 十種神宝火継秘神事

# 十種大行之秘儀



十一月三日、秋晴れの下にて、立教六十三周年の大御祭が斎行された。厳肅なる斎場は神靈の穏やかなる気包まれ、参列者の表情は和みの状となる。神人和楽の高天原が現成さる想いである。

儀式後にご来賓の皆様のご挨拶を賜り、私も少しくお話し申し上げた。この後、稚児の皆さんが愛らしくお化粧をなじ着飾つて参拝され、記念写真を撮らせて頂いた。一人ひとりに声をかけ、元気に明るく応答する想いである。

健やかな成長を乞い祈まん。

本祭儀を終え、斎場を大広前に移し、世界平和・萬民幸福・心願諸願成就の火祭祈祷を執行す。新型コロナウイルス感染の拡大終息を重ねて祈禱させて頂いた。

十一月二十一日、二十二日と三大行の結びの行たる十種大行が執行された。五月の祓禊大行、九月の六根大行、十一月の十種大行を三天大行と称えしなり。祓禊大行は大宇宙の大元靈よりカラタを賜り、生命の魂を宿す。況ゆる生命誕生である。六根大行はその身体と生命魂の生成化育成長を図る神業となる。十種大行は神挂りての神身成就へと進化するべく神業となる。神より生れ出で神に還るの神業過程を辿りあげる奇靈な



は云うまでもない。驚きと感謝で一杯であった。祈蹟が奇蹟を顯現すを我が身をもつて改めて感得すものとなつた。有り難きことであつた。十日一月二日來の胃の辺りの痛みも消耗していった。正に奇すしき神業なりをや。

御蔭にて十種大行大先達としてのおつとめを存分にお仕えすることがで、今年は御神許を拂し奉りて御鏡自拝並火継神事を教傳すものとなつた。我が身自身の顔にこれまでに見たことを感じたこともない表情を観想したようだ。また火継神事を重ねるごとに腹中に温かき快感を覚ゆる人もいたと聞く。日頃の修行の賜物とも云えよう。何にしても「行ほど尊いものはない」の御教えの実感、体得を少しくなしてほしいものと希つてゐる。その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

は云うまでもない。驚きと感謝で一杯であった。祈蹟が奇蹟を顯現すを我が身をもつて改めて感得すものとなつた。有り難きことであつた。十日一月二日來の胃の辺りの痛みも消耗していった。正に奇すしき神業なりをや。

御蔭にて十種大行大先達としてのおつとめを存分にお仕えすることがで、今年は御神許を拂し奉りて御鏡自拝並火継神事を教傳すものとなつた。我が身自身の顔にこれまでに見たことを感じたこともない表情を観想したようだ。また火継神事を重ねるごとに腹中に温かき快感を覚ゆる人もいたと聞く。日頃の修行の賜物とも云えよう。何にしても「行ほど尊いものはない」の御教えの実感、体得を少しくなしてほしいものと希つてゐる。その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

# 大和の光

12月号

《発行所》  
大和教団  
仙台市青葉区錦町2-4-24  
大和教団本庁  
電話 022-261-2525番  
振替 仙台 02220-3-45512  
発行人 大和教団 定価50円



神紋  
八咫鏡と太陽を  
かたどつたもの  
で、國家の隆昌  
と世界の共存共  
栄を意味してお  
ります。

大和の言霊  
神様の御社へ  
踏み分けるだけでも、  
大きな禊ぎになる。  
(大和神典第三之三ニ五言)

る大行ではある。

本年は御神許を拂し奉りて御鏡自拝並火継神事を教傳すものとなつた。我が身自身の顔にこれまでに見たことを感じたこともない表情を観想したようだ。また火継神事を重ねるごとに腹中に温かき快感を覚ゆる人もいたと聞く。日頃の修行の賜物とも云えよう。何にしても「行ほど尊いものはない」の御教えの実感、体得を少しくなしてほしいものと希つてゐる。その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

は云うまでもない。驚きと感謝で一杯であった。祈蹟が奇蹟を顯現すを我が身をもつて改めて感得すものとなつた。有り難きことであつた。十日一月二日來の胃の辺りの痛みも消耗していった。正に奇すしき神業なりをや。

御蔭にて十種大行大先達としてのおつとめを存分にお仕えすることがで、今年は御神許を拂し奉りて御鏡自拝並火継神事を教傳すものとなつた。我が身自身の顔にこれまでに見たことを感じたこともない表情を観想したようだ。また火継神事を重ねるごとに腹中に温かき快感を覚ゆる人もいたと聞く。日頃の修行の賜物とも云えよう。何にしても「行ほど尊いものはない」の御教えの実感、体得を少しくなしてほしいものと希つてゐる。その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

は云うまでもない。驚きと感謝で一杯であった。祈蹟が奇蹟を顯現すを我が身をもつて改めて感得すものとなつた。有り難きことであつた。十日一月二日來の胃の辺りの痛みも消耗していった。正に奇すしき神業なりをや。

御蔭にて十種大行大先達としてのおつとめを存分にお仕えすることがで、今年は御神許を拂し奉りて御鏡自拝並火継神事を教傳すものとなつた。我が身自身の顔にこれまでに見たことを感じたこともない表情を観想したようだ。また火継神事を重ねるごとに腹中に温かき快感を覚ゆる人もいたと聞く。日頃の修行の賜物とも云えよう。何にしても「行ほど尊いものはない」の御教えの実感、体得を少しくなしてほしいものと希つてゐる。その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

その稜威を日々の家庭信仰に生かし、御神火を灯し続けて頂きたい。生命の火を煌々と輝かしてほしいものである。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

十一月十四日の日に私の右肘の病み脹れ痛みにも祈蹟が生じてている。

令和2年11月23日  
壹千日謹行八百十五日  
巡拜行八十五日

教  
主

# 一年之御神託祭



神主教主様に神下られ御神託が告げられた



神主教主様より御親教を賜る

令和三年五月三十日成満祈念五千人の集いに向けた御神託祭を行いました。この儀式は、大國神社御本殿において、一年の御神託祭として行われました。神主教主様以下、祭員が御神託を受ける儀式です。

十一月二十八日、大國神社御本殿において、「一年之御神託祭」が斎行されました。

定刻の午前五時、七五三祓太鼓を合団に、神主教主様以下祭員が御神前へと参進申し上げた。

白装束に身を包んだ教職員・信奉者も内拝殿に座し、神妙に御神託を拝し賜り、責任役員畠山真由美教師が審神者の大役を奉仕された。

## 教主様壱千日壱千座の謹行 千五百座の教座善導救済の奉謝行

先ず、神主教主様に大國主大神様が御降臨あそばされ、教師役員に対し、「大和の信仰」についての尊き大御心をお伝え下され、「感謝に明け暮れ、奉謝念に燃える」大和の神明奉仕の尊さ、神拝詞を拝むこと、信奉者皆に拝ませることの大切さをお諭し下された。

次に国常立大神様が御降臨あそばされ、あくる年、令和三年における農業や漁業、林業、天災・人災など災いについて、政治・経済の動向などをお諭し下され、また、現状の新型コロナウイルス感染拡大終息についての見通し、更には大和の御教えに関しての御神託をお受け下さい。

続いて開祖様が御降臨あそばされ、教職員に対して温かく御教えをお授け下された。

本年も昨年に統けて厳しくも慈愛溢れる優しさ「おことば」を賜りての御神託祭であった。結びに教主様より御親教を賜り修祭となつた。

十種大行の二日目となる、十一月二十日、教主様は壱千四百日を嚴修なされた。

教主様は平成三十一年九月一日より、幼き子供等の生命を虐待等により救済し、高齢者が犯罪に巻き込まれることのなき様に合わせて北朝鮮による拉致被害者の救出救済を乞い祈み奉り、壱千日の大國神社日参謹行並びに壱千五百座の教座会、五千人の善導救済の謹行に御入行されておられ、この十二月十三日には教座会参加者が七、一〇六名に達した。

教主様は未明の御本殿を参拝後、御本殿の第四座結願祈祷、祖靈殿にての大國神山の摂宮末社を隈なく巡られる巡拝行を行修なされ、御本殿で結願淨靈祈祷をご執行なされた。

結びの結願教座において教主様は、「神拝詞一頁を開いて下さい。神紋が記されています。これはただの飾りではありません。力な

十種大行の二日目となる、十一月二十日、教主様は壱千四百日を嚴修なされた。

教主様は平成三十一年九月一日より、幼き子供等の生命を虐待等により救済し、高齢者が犯罪に巻き込まれることのなき様に合わせて北朝鮮による拉致被害者の救出救済を乞い祈み奉り、壱千日の大國神社日参謹行並びに壱千五百座の教座会、五千人の善導救済の謹行に御入行されておられ、この十二月十三日には教座会参加者が七、一〇六名に達した。

教主様は未明の御本殿を参拝後、御本殿の第四座結願祈祷、祖靈殿にての大國神山の摂宮末社を隈なく巡られる巡拝行を行修なされ、御本殿で結願淨靈祈祷をご執行なされた。

結びの結願教座において教主様は、「神拝詞一頁を開いて下さい。神紋が記されています。これはただの飾りではありません。力な

悪い事をしたからと言つて、太陽の光を頂けないか、ではありません。

どんな人にだって求める心があれば差し上げます。本当に有難いことです。人は生き物です。草や木でも全

て生き物ですから、そういう意味かの熱と光は天照大御神様の御神徳

奉者皆に拝ませることの大切さをお諭し下された。

教主様は平成三十一年九月一日より、幼き子供等の生命を虐待等により救済し、高齢者が犯罪に巻き込まれることのなき様に合わせて北朝鮮による拉致被害者の救出救済を乞い祈み奉り、壱千日の大國神社日参謹行並びに壱千五百座の教座会、五千人の善導救済の謹行に御入行されておられ、この十二月十三日には教座会参加者が七、一〇六名に達した。

教主様は未明の御本殿を参拝後、御本殿の第四座結願祈祷、祖靈殿にての大國神山の摂宮末社を隈なく巡られる巡拝行を行修なされ、御本殿で結願淨靈祈祷をご執行なされた。

結びの結願教座において教主様は、「神拝詞一頁を開いて下さい。神紋が記されています。これはただの飾りではありません。力な

悪い事をしたからと言つて、太陽の光を頂けないか、ではありません。

どんな人にだって求める心があれば差し上げます。本当に有難いことです。人は生き物です。草や木でも全

て生き物ですから、そういう意味かの熱と光は天照大御神様の御神徳

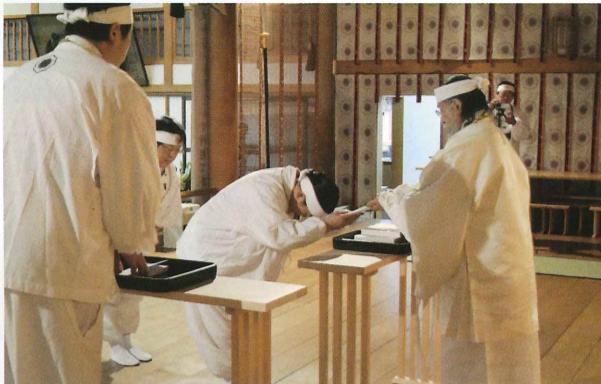


教主様を真中に記念撮影

## 大和三大行結行

本教三大行の結行となる十種大行が十一月二十一日から二十二日両日に亘り行修された。

初日、先ず祈祷殿において斎主教主様のもと始奉告祭が斎行され、顕幽参行者が大前に言上された後、教主様より「十種神宝御鏡自拝火繼神事秘詞」が参行者一人ひとりに授けられた。五月の禊大行、九月の六根大行、そして三天行結行となる十一月の十種大行を修することにより、神々からは多くの御力が授けられることご教授下された。



教主様より御鏡自拝火繼神事秘詞を拝受する

# 十種大行

## 十種神宝火繼神事教傳執行

明くる二日目は午前三時四十五分には御本殿へと参集、田中道敏教師

先達により御本殿広前にて鳥船神事が執行され、参行者一同大きな円となり大宇大宙の奇毘なる息吹を拝戴申し上げた。

第三座は品川弓教師が先達を務め、続く第四座は御本殿、及び祖靈殿において、大先達教主様により壱千日謹行第八一四日、結願祈祷、結願淨靈祈祷が執行された。

結願の教座において教主様よりお諭しが説かれ、大宇宙の神秘、大和の教儀、全人類を救済すべく御教である「大和根本」について学び合つた。



夜明け前の御本宮広前にて鳥船神事を行修

記念撮影後、熊川知長教師先達にて第一座が執行され、殿内では只管に十種神宝詞が奉唱され、振鈴の音とともに参行者は皆、無心で祈り込んだ。

本行にて授かりし御鏡自拝火繼神事秘詞奉称では御鏡を通じて己と向き合い、御神火の尊き深淵なる力を拝し奉った。

引き続き、神社境内各所の清掃奉仕を行い、横尾匡彦教師のもと第二座が修められた。

続いて畠山真由美教師が講師となりの講義が行われ本行の尊さ、奥深さが参行者に説かれた。

次に田中道敏教師により鳥船神事の習礼が行われ、夕食を頂き、初日は滞りなく修められた。

朝食を挟み、畠山真由美教師先達のもと、結びの行となる第五座を行修、修了奉告祭において、顕幽参行者に修行の証が授与された。

結びの直会では一人一人が感想を述べ今回の新しき行の作法、御稟威散会となつた。

朝食を挟み、畠山真由美教師先達のもと、結びの行となる第五座を行修、修了奉告祭において、顕幽参行者に修行の証が授与された。

結びの直会では一人一人が感想を述べ今回の新しき行の作法、御稟威散会となつた。

祓禊大行では、身体と靈・生命を頂きます。身体という器を頂き、姿形を授かります。そして、この身体流れとなつております。

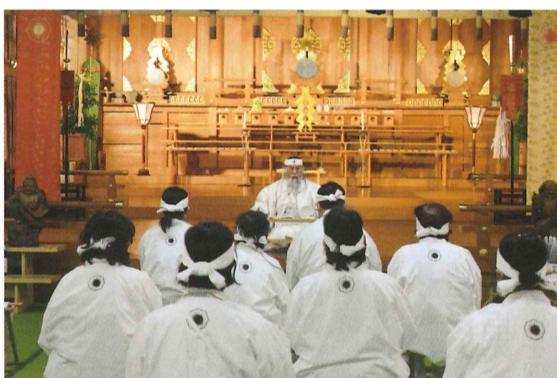
祓禊大行では、身体と靈・生命を頂きます。身体という器の中に神様の命を宿します。それが祓禊大行です。「あ」という霊種。宇宙の大元靈、大元の生命を頂いたカラタ(身体)の中に収まるということです。

「みそぎ」を私共は「祓禊」と頸します。祓は悪いものが皆無くなる、創造となります。神様を誕生させることです。皆さんの尊いカラタ(身体)という器に神様の命を宿すということです。

神界・現界・靈界の清めを神様とともにご奉仕をさせて頂くという喜びをもつて行います。そして、感謝の流れがあります。神様にも御靈にも感謝です。それがあの祓禊祭と繋がります。そして六根大行にて更に成長をさせ、今度は御魂結之神儀でもっと強い生命を頂くのです。

十一月三日の大祭。感謝のお祭りで世界平和萬民幸福を祈願致します。

## 教主様御親教



教主様より御親教を賜る

が祓禊大行です。

六根大行ではそのカラタ(身体)と命が「お」と増幅して参ります。どんどん成長して参ります。ですから九月はこの身体が宇宙との繋がりを表すとした五体加持どんどん清めて増幅させるのです。それを六根大行で行じるのです。

私たちの身体には頭があります。頭には髪の毛があります。何を表すのでしょう。宇宙の星々。限りない数の星。この地上なら草木であり、草木の根でしようか。眼は太陽と月。鼻は山。脇は谷でしようか。川の水、海の流れが皆、血液となつて身体中を巡っています。森羅万象、この地上の営み、大宇宙の営みのそのものが人体なのです。全てが秘められています。宇宙の力を頂く、それを体感する行が六根大行です。成長した身体と命に、神様の力を頂くわけです。

そして、十種大行。十月の御魂結之神儀で鎮めた御力を更に頂きます。この行をもって、自分自身で成長させていく結びの行としての十種大行です。

全ての行が尊いのですが、生命の誕生から、それを成長させ更に神々の力を授かる完成の行となる訳です。それだけの意味を持つた行法なのです。

全ての行が尊いのですが、生命の誕生から、それを成長させ更に神々の力を授かる完成の行となる訳です。それだけの意味を持つた行法なのです。

簡単にはただやればいいという訳ではありません。三つの行にはそれぞれの流れがあります。

神界・現界・靈界の清めを神様とともにご奉仕をさせて頂くという喜びをもつて行います。そして、感謝の流れがあります。

神様にも御靈にも感謝です。それがあの祓禊祭と繋がります。そして六根大行にて更に成長をさせ、今度は御魂結之神儀でもっと強い生命を頂くのです。

十一月三日の大祭。感謝のお祭りで世界平和萬民幸福を祈願致します。



一人が五人を導く善導奉謝行を結願し国家社会に貢献致しましょ



斎主熊川知長祝詞奏上



金剛藏王大神御尊像

## 清美進む大市神山

皆様から真心のご奉賛にて、大國神社境内地の清美事業も順々と進めさせて頂いております。昨年の金剛藏王大神御尊像の建立、御本殿の建具、及び殿内の脇の設置、天神社建立にはじまり、本年度も奥都城倉庫の建設や参考殿裏地の成型工事が行われ、随神靈神奉祀之碑建立由縁板や神変神社大石斧銘板の文字には墨が入り大変見易くなっています。また、大國広場の金剛藏王社と住吉社の御社も補修



美しく建具が増設された御本殿

## 新嘗祭斎行

豊穣感謝の誠を捧げる「新嘗祭」

が、十一月二十三日、午前十時より大國神社御本殿において熊川知長祭儀部次長斎主のもと、厳かに斎行された。

新嘗祭（にいなめさい、にいなめのまつり、しんじょうさい）は宮中祭祀のひとつで、天神地祇への奉告を申し上げ、翌年の五穀豊穣を祈念申し上げる古来よりの祭儀である。

が施され、今後も年内には地蔵舎の天井補修、御外拝殿の北極神界、さざれ石の由縁板の設置、境内各地各所看板の修繕を行い、春にはいよいよ御本殿瑞垣のお取替えをさせて頂きます。今後も引き続き、境内地全般の電気設備工事等



拉致議連に拉致被害者救出署名を手交す

十二月七日午後四時、本教団顧問の参議院議員和田政宗先生と相談役の仙台市議会議員斎藤範夫先生（仙

## 超党派の拉致議連に 拉致被害者救出署名 手交す



受験合格に導く天神社（合格祈願社）

清美事業を行う予定でございますので、心篤き教信奉者の皆様には更なるご奉賛の“おこころ”を賜ります様、お願い申し上げます。

**厄除祈祷随时受付中**

厄歳は人生の節目とされ、長い人生における一つの転換期として、心身ともに攝生を重んじ、何事も慎むべき大事な歳とされております。大國神社に参拝してお祓いを受け、厄難消除開運招福をご祈念ください。

皆様のおこころに感謝と御礼を申し上げます

地蔵尊衣装奉納者御芳名  
秦チエ子

## 令和3年 厄年表 (数え年)

大厄 42歳 男性の厄年		
前厄	本厄	後厄
24歳 寅年 平成10年(1998)生	25歳 丑年 平成9年(1997)生	26歳 子年 平成8年(1996)生
41歳 西年 昭和56年(1981)生	42歳 中年 昭和55年(1980)生	43歳 未年 昭和54年(1979)生
60歳 寅年 昭和37年(1962)生	61歳 丑年 昭和36年(1961)生	62歳 子年 昭和35年(1960)生

## 大厄 33歳 女性の厄年

前厄	本厄	後厄
18歳 申年 平成16年(2004)生	19歳 未年 平成15年(2003)生	20歳 午年 平成14年(2002)生
32歳 午年 平成2年(1990)生	33歳 巳年 平成元年(1989)生	34歳 辰年 昭和63年(1988)生
36歳 寅年 昭和61年(1986)生	37歳 丑年 昭和60年(1985)生	38歳 子年 昭和59年(1984)生
60歳 寅年 昭和37年(1962)生	61歳 丑年 昭和36年(1961)生	62歳 子年 昭和35年(1960)生

台市拉致議連会長）、同じく菊地崇良先生（同幹事長）、高橋卓誠先生（同事務局長）、参与の救う会宮城安藤哲夫会長は、家族会の増元照明会長に拉致問題の早期解決を陳情、前事務局長とともに、北朝鮮による拉致問題の解決を目指す超党派の拉致議連（以下、拉致議連・古屋圭司会長）に拉致問題の早期解決を促進し、内閣総理大臣宛「北朝鮮による拉致被害者の救出を促進する要請書」を手交するため参議院会館を訪れた。

拉致議連からは、ご多忙の中、会長代行の山谷えり子参議院議員（自

民党拉致問題対策本部長）他、議連幹事長の松原仁衆議院議員、事務局長の北村経夫参議院議員、笠浩史衆議院議員、榛葉賀津也参議院議員、高木かおり参議院議員がご対応下さい、意見交換の後、宮城県四、〇九六筆、仙台市三、七〇二筆、大崎市一、一二三筆、街頭署名分二、三三〇筆分の計一一、二五一筆分の署名を手交し、早期の拉致問題解決、全被害者救出を訴えた。

本教においても更なる協力の下、一日も早い拉致被害者全員の救出を

ご祈念申し上げます。

拉致議連から、ご多忙の中、会

2月行事予定表		1月行事予定表	
2月28日	2月25日	2月21日	2月1日
開祖祭・永代奉齋之儀	みそぎ祈願行	教主様特別講演会	月始祈願祭
六根修養会	理事会・前期総合役員会	2月12日	特別禁厭祈祷
		2月3日	福神招福祭
		2月17日	親神感謝祭・祖靈万靈祭
		2月15日	月次祭・祖靈万靈祭
		2月11日	大和地蔵慰靈祭
		2月10日	出羽三山伏効進新年祈願祭
		2月5日	神光龍神祭
		1月24日	みそぎ祈願行
		1月14日	特別禁厭祈祷・どんど祭
		1月15日	月次祭・祖靈万靈祭
		1月11日	初月祭・祖靈万靈祭
		1月10日	歲旦祭・新年火祭初祈禱
		1月5日	寒行・寒祈禱神光龍神祭
		1月1日	進学合格祈願祭



会津若松教会所属の秦チエ子さんが手作りの衣装を毎年、継続的に奉納して下さっております。秦さんの真心に感謝を申し上げます。

秦チエ子